

地域ケア会議から生まれた

# 幸せます健康くらぶ

移動支援で「介護予防&お買物」

「幸せます健康くらぶ」は、防府市の介護予防・日常生活支援総合事業のサービスで、移動支援を軸に、介護予防と生活（買物）支援を一体的に提供することを目的に、行政、地域住民、社会福祉法人、民間企業が協働しています。

平成29年9月29日厚生労働省から「訪問型サービスDの実施可能モデル」として、全国に向けて周知された、防府市独自のサービスです。



## ◎サービスの構成

- ・【介護予防教室】介護事業所へ委託（基準緩和型サービスA@2,250円）
- ・【移動支援】社会福祉法人への補助（訪問サービスDによる燃料費実費補助）
- ・【見守り等の運営補助】住民団体への補助（通所サービスBによる補助）

◎利用料金 500円/回（サービス利用料250円+損害保険料他雑費250円）

## ◎開発からの経緯

平成28年 8月 向島で地域ケア会議を開催。（テーマ：高齢者の外出支援）

向島地域民児協定例会において、買物支援サービスについて協議開始。

11月 「幸せます健康くらぶ おためし会」を開催。（以降4回実施）

向島民児協定例会に関係者が集まり反省会を実施。

平成29年 4月 新しい総合事業の実施。幸せます健康くらぶ実施要綱制定。

5月 幸せます健康くらぶ サービス提供開始（月2回）

6月 「住民主体の生活支援推進研究会」ヒアリング（東京都）出席

7月 後援団体「向島にしき健康くらぶ後援会」発足

9月 「移動・外出を多様な生活支援サービスで推進するセミナーin福岡」にて事例発表

厚生労働省振興課「訪問型サービスDの実施可能モデル」として周知

10月 「さわやか中国ブロック研修会」事例発表

11月 「中国地区移動サービスネットワーク交流会」事例発表

「移動・外出支援、配食サービス等生活支援体制整備に向けた研修会」（兵庫県主催）事例発表

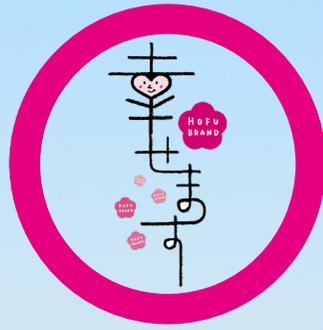
## 派生して実施・検討しているサービス

### ○幸せます健康くらぶ（公民館型）：向島地域

地域をマイクロバスが回り、利用者を公民館に送迎します。公民館で介護予防教室を実施し、昼食後に文化活動や子ども支援団体との交流、お話し会等を行います。株式会社丸久の移動販売「いくまる号」が公民館に来館するため、買物も可能です。

向島地域では、毎月第2水曜日はイオン防府店、毎月第4水曜日は向島公民館で幸せます健康くらぶを実施しています。

今後、他地域で実施する場合には、実施場所を公民館に限定することなく、空家・空店舗・その他地域の施設等で実施することも提案していきます。



山口県防府市  
面積：189.37km<sup>2</sup>  
人口：115,390人  
高齢化率：30.7%（75歳以上15.8%）  
介護認定率：18.1%  
介護保険料：5,779円  
（令和3年1月1日現在）

# 幸せます 健康くらぶ事業

山口県 防府市  
健康福祉部 高齢福祉課

## 予算（向島地域：月2回開催 25名参加）

委託料@ 2,250 × 25名 × 2回 × 12ヶ月 =	1,350,000円
燃料費補助（訪問サービスD） @ 1,300 × 12ヶ月 =	15,600円
住民団体補助（通所サービスB） @ 2,500 × 2回 × 12ヶ月 =	60,000円
計	1,425,600円



山口県指定文化財 天然記念物  
防府市向島の寒桜

## 防府市を取り巻く現状

防府市では、高齢者を支え合う地域づくりを推進していく上で、地域住民が運営する介護予防教室の設置について検討していました。しかし、高齢者が歩いて通える介護予防教室を地域に設置するためには、多くの教室を設置する必要があり、地域住民への運営負担が大きいことから、設置プランが作れない状態でした。また、介護事業所や一般企業との協働や、高齢者の参加を促す工夫が必要だと考えていました。

この頃、幸せます健康くらすの素案はありましたが、市がバスを出す方法では多額な費用がかかり、また地域づくりにもつながらないため、この案は立ち消えるところでした。

その折に、高齢化率49%を超える向島の地域課題「高齢者の外出支援」をテーマに向島地域で地域ケア会議を開催し、参加した地域住民から「せっかく集まった会議から、高齢者の外出支援につながることを産み出そう」という意見をいただきました。

その後、地域の皆さんと協議する中で、幸せます健康くらすの素案を紹介したところ、地域の積極的な関わりを申し出ていただき、地域ケア会議に出席した社会福祉法人蓬萊会や防府市通所サービス連絡協議会の参加、イオン防府店・イオンタウン防府の協力により、地域ケア会議から3ヵ月後には「お試し会」を行うことができました。

以後4度の「お試し会」を実施しましたが、参加者の手配やバス乗車場所の選考等は地域が行い、反省会も地域主導で行われる中で様々な改善が加わり、最終的にはこのサービスをサポートする住民団体を設置するに至りました。

この取組みにより、地域課題を解消するための高齢者支援サービスを地域主導で作ることができる、ということを示すことができました。なにより次に続く地域も出始めていることが一番の収穫で、この成果を基に地域包括ケアシステムの構築に向けて進んでいきたいと考えています。

### 社会福祉法人 蓬萊会 施設長

蓬萊会は指定障害者支援施設を運営する社会福祉法人です。向島地域の皆さんとは様々な行事などを通じて交流をもっていますが、平素から地域に貢献できないかと考えていました。

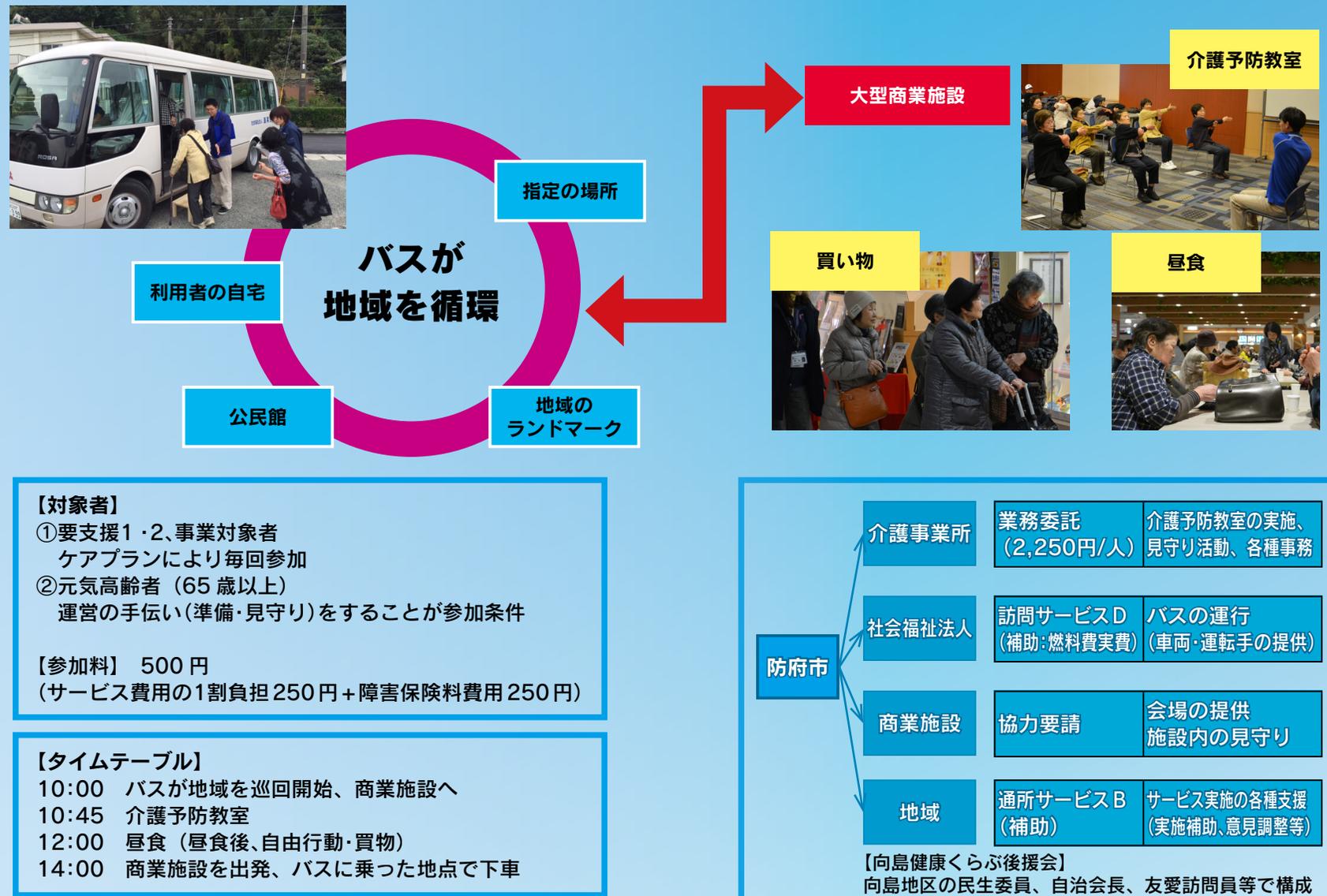
このたび地域ケア会議に参加した際に、高齢者の外出支援が向島地域の課題だと聞いていましたので、このサービスへの参加を決めました。

### 向島地区民生委員

見知った顔が集まってのコミュニケーションの場になるだけでなく、知らない方との出会いの場にもなっています。

介護予防教室だけでなく、その後の昼食やお買い物も、みんな「良かった」と言ってくれているので、参加してみて初めて分かる『良さ』をもっと発信していきたいですね。

# 幸せます健康くらす 事業概要図



### 向島地区自治会長

体験前は参加に後ろ向きだった人も、帰るときには「楽しかった」と言ってもらえています。参加費の500円に難色を示される方もいますが、実は向島・防府駅間のバス往復賃よりも安いんです。参加される方は足腰が悪い人も多のですが、介護予防教室中も「無理しないでください」と優しく声をかけてもらえたり、楽しく和やかな雰囲気で行われています。

高齢者向けのサービスではありますが、この「楽しさ」を売りにして、今後も地域全体で取り組んでいきたいです。

### 【参加者の声(事業対象者)】

- 介護予防体操の中で、身体を動かし頭を使うのは、とても良い刺激になります。こういった機会の中で、みんなと食事をしたり話ができるのはとても楽しいので、これからも参加していきたいです。
- 普段あまり家から出ないのですが、友達に誘ってもらって、参加できて良かったです。介護予防教室はとても勉強になりました。